

## 西本農園

### ●農業経営の概要

所在地：岡山県美作市長内290  
 参入形態：農地借入による参入  
 経営品目：野菜（ナス12a、カブ12a、その他）、農産加工  
 資本金：1,000万円  
 労働力：従業員3名、パート2名  
 関連会社：株式会社 西本建設（事業内容：建設業）



（調査年月日：令和2年10月）

## ～ 6次産業化への挑戦 ～

### 農業参入の目的

家業として建設業を営む中で、代表者が兼業農家出身であったことから農業を身近な存在に感じていた。また、6次産業化に高い関心を持つようになり、漬物の原材料生産から加工、販売までを視野に入れ、平成19年に耕作放棄地の再生に着手した。



### 農地の確保

加工原料とする野菜の生産に向け、長年耕作していなかった自家の田畑を1年掛かりで再生し、23aの農地を法人が貸借する形で確保した。

### 農業参入に関して受けた支援等

- ・農産加工事業の本格化に向け、岡山県の「建設業新分野進出支援計画」の承認を平成21年に受け、補助金を活用して農機・農舎及び食品加工施設（約20㎡）を整備。
- ・農林水産省の「6次産業化総合化事業計画」の認定を平成24年に受け、専門家による加工品開発や販路拡大の支援を受けたほか、6次産業化推進整備事業を利用し、食品加工施設の拡充整備を実施。

### 農業経営の経緯や現況

#### <農業生産部門>

- ・生産品目は、加工原材料としているナス（千両）及びカブ（早生大蕪）が中心。
- ・経営では農産加工を主体に位置づけ、農業生産の労働力や規模を必要最低限に抑えることで加工事業に注力している。このため、農業生産ではこれまでに面積拡大はしていない。
- ・平成24年、経営改善計画の認定を受け、美作市の認定農業者（法人）となる。



### <農産加工部門>

- ・製造する加工品は約10種類で、規格が異なる商品やセット品を含め、全商品数は20種を超える。これらの内、「辛しなす」が当農園の看板商品。
- ・原材料のナスとカブは、自社生産以外に、契約農家（3戸）からも購入。ナスは時期によって岡山市南区（備南地区）の農家からも調達する。
- ・県内農家とコラボし、岡山特産のモモやブドウを使ったフルーツ甘酒など、バラエティに富んだ商品づくりも展開している。



展示会への出展

### <販 売>

- ・加工作業に労力が偏重しないよう、ナスとカブは、道の駅や農産物直売所で青果としても販売する。
- ・加工品は、県内の直売所（JA、道の駅）、スーパー、百貨店などが主な販売先で、美作市の「道の駅 彩菜茶屋」への販売量が多い。また、仲卸業者（主に3社）を通じて県外へも販売する。

### 農業参入の効果や課題等

- ・参入直後は、栽培知識が無く理想的な成果が得られなかったため、近隣農家やJAに助言を求めて栽培技術の習得を図った。参入から10年経過した現在も、常に技術向上を心掛けている。
- ・農地が山間部にあるため農産物の鳥獣被害が深刻で、十分な対策が見つかっていない。
- ・加工事業では開始から数年間、支援機関等が開く研修会や商談会に積極的に参加したことで、商品づくりに関する様々な技術の習得や販路開拓、さらには人的なネットワークづくりにつながった。

### 今後の展開

- ・加工事業に重点を置いているため、農業生産は現状を維持していく。
- ・加工事業では、労力軽減や生産能力向上のために機械化も視野に入れているが、投資効率や生産量に見合った販売ができるかを検証し、慎重に導入を考えている。
- ・利益を出すには売上増加が必要となるため、多様な加工品が市場に溢れる中、消費者の声を聞きながら買ってもらえる加工品づくりを目指す。

### 農業参入を目指す企業へ

中途半端ではなく、本気で農業に取り組めば、自ずと近隣の農家、JA、行政が手を差し伸べてくれます。周囲と良好な関係を築くことも、農業経営を維持・発展される重要な手段の一つです。

また、6次産業は、最低限の初期投資やノウハウは必要ですが、農産物の新たな価値を生み出す魅力的な取組です。是非チャレンジしてみてください。



加工作業の様子